（別紙1）

従業者向け　放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに〇を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	1	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	5	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	5	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	

OKAZAKI

（別紙2）

保護者向け　放課後等デイサービス評価表

（保護者の皆さまへ）
○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。
「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに〇を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

提出期限：9月30日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	4	1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 (https://x.gd/3hXbm)	11	0	0	1	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	9	3	0	0	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1	
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	4	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	2	1	
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	3	3	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	3	1	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	2	3	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	0	2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	1	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	6	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	10	0	0	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。
※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。
※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

Googleへの口コミもよろしくお願いします！

Instagramのフォローもよろしくお願いいたします！

9月30日までにアンケートにご回答いただいた方には、
ワンライフオリジナルグッズをプレゼント

ご回答をありがとうございました。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフOKAZAKI			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	25	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・外国籍のお子さまへの支援に特化している体制が整っていること ・ブラジル人・日本人スタッフが在籍しており、母国語・日本語の双方での支援が可能なこと	・お子さまの特性に合わせて、個別のコミュニケーションや支援方法を工夫している ・母国語（ポルトガル語）と日本語の両方を使い、安心して過ごせる環境づくりを行っている	・外国籍児童への支援ノウハウをさらに蓄積し、スタッフ研修（言語・文化理解）の強化を行う ・ ポルトガル語支援、日本語学習支援の教材やプログラムを追加し、学習面のサポートをより充実させる
2	・学校 → ワンライフ → 自宅 岡崎市内3方向への送迎に対応し、幅広い送迎範囲を確保していること	・保護者様が安心してお預けいただけるよう、長期休暇中も送迎と一日通しての支援を行っています。お子さまが安心して過ごせる環境づくりと、ご家庭との情報共有に努めています。	・学校へ送迎に行くことで先生と直接お話ができ、生活面や学校での様子、ワンライフでの様子を共有できます。そのため、お子さまへの支援を共通した方向で行うことができます。
3	・年間を通してイベントを実施し、ご家族も参加できる楽しい企画があること	・ ご家族参加型イベントを企画し、家族との関わりや成功体験を大切にしている	・イベント内容のバリエーションを増やし、保護者同士の交流機会の拡大につなげる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 1階の支援スペースが、利用児童数に対してやや狭いこと	・建物の構造上、1階スペースの広さに限りがあるため	・活動内容に応じてスペースを分ける工夫を行い、できるだけゆとりのある環境づくりを進める
2	・平日はグループ活動が中心となり、個別支援が十分に行われているか不安に感じる保護者がいること	・利用児童数の増加により、平日の活動が預かり中心となり、個別対応の時間が確保しにくくなっているため	・個別に学習プリントを用意したり、小グループでの活動を取り入れたり、少人数担当制にしている。 保護者の不安に丁寧に対応する
3	・事業所前がすぐ道路で交通量も多く、安全面のリスクがあること	・立地の関係で道路が近く、交通量が多い時間帯もあるため	・送迎時や外出時の安全確認を徹底し、スタッフ間の連携を強化する

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ OKAZAKI

公表日

利用児童数　25　　回収数　13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	4	1	・子どもたちがもっと遊んだり自由に動くことができるスペースが欲しい。 ・室内で遊べる（支援してもらえる）広いスペースがあったら良い。 ・子どもたちがもっと自由に取り組むためにはスペースが小さいと思う。	・限りあるスペースで支援内容を考慮しながら、環境構成を考えております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	2	・良いと思う。スペースが広ければもっと実用的だと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	・娘が階段に苦戦しているときに、職員の忍耐力がない→① ・職員は親切だが、それぞれの子どもに適応されていないと感じる→②	①ご意見を頂きありがとうございます。職員の配慮や声掛けが十分でなかったことを反省しております。今後は限られた時間の範囲内でお子さんのペースを大切に見守りとサポート方法について職員間で共有し、改善してまいります。 ②ありがとうございます それぞれのお子さまの特性やその日の状態に応じた個別対応が行えるように、職員間で情報共有を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	11	0	0	1	・活動によっては各子どもに合わせて個別支援ができるんじゃないかと考えました。	・それぞれのお子さまの特性やその日の状態に応じた個別対応が行えるように、職員間で情報共有を行っております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	3	0	0	・役立つが我が子が必要としている物事に考慮できていない。	・スタッフ、保護者のモニタリングを踏まえたうえで、個別支援会議を行い、個別支援計画を作成しています。 ・個別支援計画について、ご質問がありましたら、いつでもスタッフにお声掛けください
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0	・計画は役立つが、必要な支援の詳細が不足しているときが多い	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	2	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	1	・いくつか説明を受けたが全て詳しくは言われていない。	・個別支援計画について、ご質問がありましたら、いつでもスタッフにお声掛けください
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	3	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	3	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	・事業所の方々はいつも思いやりをもって接してくれます。	・うれしいお言葉ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	2	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	5		・様々な状況に対応したマニュアルがありますので、皆様への周知の為、契約時に説明させていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	10	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	・私の苦情は伝えました。返答を待っています。→① ・サポートは助かるが、いつも計画通り、必要としていることをしているわけではない。→②	①貴重なご意見ありがとうございました。お話させていただいた来ました。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いします。 ②それぞれのお子さまの特性やその日の状態に応じた対応をさせていただいております。計画通りにいかない日もありますが、ご理解をよろしくお願いします。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ワンライフ OKAZAKI

公表日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・早急に大きい子が使える椅子と机を購入しました。	・極めて重要な空間。運動機能を鍛えるための空間を仕切り ・グループ活動、宿題をやるスペースがない、椅子と机が必要 ・利用児が多く、いすや机のスペースが足りないと思いましたが、購入していただき良かったです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・職員が適材適所それぞれが活躍できるような仕事の配置を行っています。 ・担当人数を考慮して、職員が不足しないよう配置していきます。 ・利用数や休みに対して、相談などしていただけるのでよく調節されていると思います。	・多くのことをする人と、まったく何もしないに近い人がいる。 ・職員が１人専属で付くと、職員が不足する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・一日の順の流れなどの、イラストや順番が入ってあって子どもたちも見やすいです。	・家具の改善 ・利用児の着替えをする場所がなく、トイレで着替えなくてはいけない。狭い ・窓際の段差が危ない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・空間を広く子どもたちが動きやすく過ごすためにすべての仕切りを取り外しました。 ・みんなで協力して掃除、片付け等で来ていると思います。	・清潔だが空間の仕切りが足りない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	・現在１階のフロアのみ使用しております。今後子どもたちの成長に合わせて、２階での支援も検討しております。	・家具の購入 ・子どもが情緒不安定になったときに落ち着くための空間がない ・おむつを使う子供たちがいるためトイレのドアを修理する必要がある。 ・仕切りがない、その他の物が多い為仕切りと整理整頓が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・スタッフ同士での情報共有業務改善案など朝礼の時間以外にも、すぐスタッフで話し合って、相談したり、させあったりできる環境が作られていると思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・スタッフから多くの意見を聞き、可能な限り業務改善につなげている。 ・スタッフ同士での情報共有業務改善案など朝礼の時間以外にも、すぐスタッフで話し合って、相談したり、させあったりできる環境が作られていると思います。情報共有、改善提案もできていると思います。	・事業所の考え方計画に沿っている場合は考慮される。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・第三者評価は行っておりませんが、今回の評価結果を元に、業務改善に努めてまいりたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・オンライン研修、新人研修、リーダー研修、中堅研修などそれぞれに合った研修で能力を高めることができます。	・研修の提供がある。障害のある方の対応、支援の仕方のトレーニング（研修）があると良い。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	1		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	・支援計画の作成にあたっては、「本人支援」「家庭支援」「地域支援」の3つの視点を意識し、アセスメント結果や家庭・学校の情報を反映できるよう努めてまいります。 今後は、活動内容と支援目標をより具体的に結びつけ、支援の一貫性を高めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	5	・送迎時間の関係で打ち合わせまではいかないが、口頭で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	・記録はされている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		・全ての子どもではない
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・保護者さまの希望であったり、園から依頼があれば、情報共有をさせていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・スムーズな移行ができるように関係者会議にて、情報共有を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	5	・児童発達支援センターから研修の案内があります。スタッフ全員が参加することは難しいので、管理者が参加させていただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・通所連絡会や全体会などに積極的に参加させていただき、横のつながりを深めてまいります。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・保護者とのコミュニケーションがうまく取れていると思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	・家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）については、現状では個別対応が中心となっています。 今後は、保護者の皆さまが参加しやすい形での情報提供や機会の周知を進めてまいります。	・現在ペアトレは実施されていないが、今後そういった機会を増やしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・計画はそうである。 ・必要に応じて言語の翻訳をしていると思います	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	・保護者会等の設置は行っていませんが、保護者参加のイベントを増やして、イベント内で保護者同士の交流を設けております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・必要に応じて、翻訳やイラストでの表示があります	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・現在は安全面などの理由から地域との交流機会は限られていますが、今後は地域の行事や団体とのつながりを大切にし、地域に親しまれる事業所を目指していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	・安全計画を策定しており、定期的に事業所内外の安全管理に努めております。 また、災害や事故を想定した避難訓練・救急対応の確認を定期的に行い、職員間で共有することで、緊急時にも迅速に対応できる体制づくりを進めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		